

（４）大覺大僧正・題目石・三十番神（山崎公会堂）



・鎮座：岡山市中区山崎83地先

・由緒来歴

山崎公会堂の敷地内（国有地）に建つ3基の供養碑（写真上）は大覺大僧正並びに三十番神をお祭りしたものです。

右側の石碑は、村中安全五穀豊穰成就を願い岩戸雄太郎（現岡山市北区奥田本町在住の岩戸 顕の曾祖父）が明治41年3月20日に建立したものです。

現在（2009年）は毎年5月3日（憲法記念日）に町内有志により「しぐさんにち」（大覺大僧正の命日 舊暦4月3日）と称し、大覺大僧正並びに番神様を祀り併せて町内の安全及び五穀豊穰等を祈願しています。

（岡山市富山学区連合町内会ホームページ「学区の紹介」より引用）

・三十番神（さんじゅうばんしん）

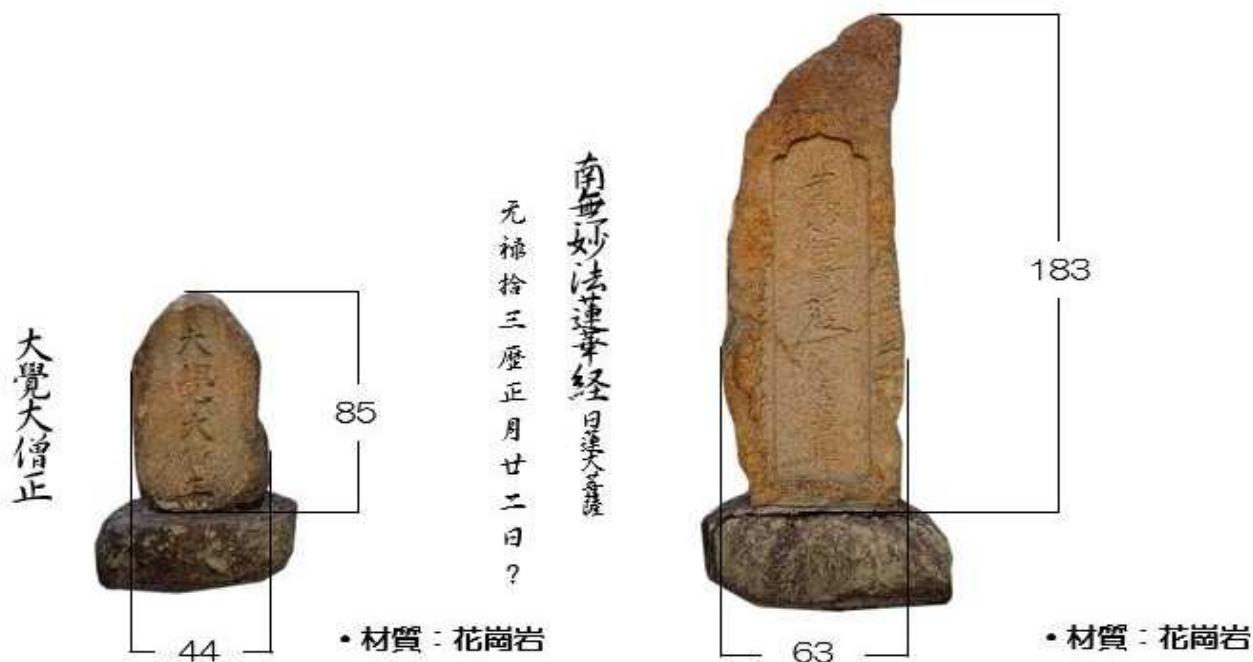
三十番神は、神仏習合の信仰で、毎日交替で国家や国民などを守護するとされた30柱の神々のことである。太陰太陽暦では月の日数は29日か30日である。最澄（伝教大師）が比叡山に祀ったのが最初とされ、鎌倉時代には盛んに信仰されるようになった。中世以降は特に日蓮宗・法華宗（法華神道）で重視され、法華経守護の神（諸天善神）とされた。これは、京都に日蓮宗を布教しようとした日像が、布教のために比叡山の三十番神を取り入れたためである。

1868年、神仏分離のため、明治政府によって配祠を禁じられた。

①熱田大明神・大日如来 ②諏訪大明神・普賢菩薩 ③広田大明神・勢至菩薩 ④気比大明神・大日如来 ⑤気多大明神・阿弥陀如来 ⑥鹿島大明神・十一面観音 ⑦北野大明神・寿一面観音 ⑧江文大明神・（？） ⑨貴船大明神・不動明王 ⑩天照皇太神・大日如来 ⑪八幡大菩薩・阿弥陀如来 ⑫加茂大明神・聖観音 ⑬松尾大明神・毘婆尸仏 ⑭大原大明神・薬師如来 ⑮春日大社・釈迦如来 ⑯平野大明神・聖観音 ⑰大比叡権現・釈迦如来 ⑱小比叡権現・薬師如来 ⑲聖真子権現・阿弥陀如来 ⑳客人大明神・十一面観音 ㉑八王子権現・千手観音 ㉒稻荷大明神・如意輪観音 ㉓住吉大明神・聖観音 ㉔祇園大明神・薬師如来 ㉕赤山大明神・地藏菩薩 ㉖建部大明神・阿弥陀如来 ㉗三上大明神・千手観音 ㉘兵主大明神・不動明王 ㉙苗鹿大明神・阿弥陀如来 ㉚吉備大明神・虚空蔵菩薩

＜ウィキペディア（Wikipedia）より引用＞

・大覚大僧正・題目石 寸法図（単位：cm）



・三十番神・明治の題目石 寸法図（単位：cm）

